

7

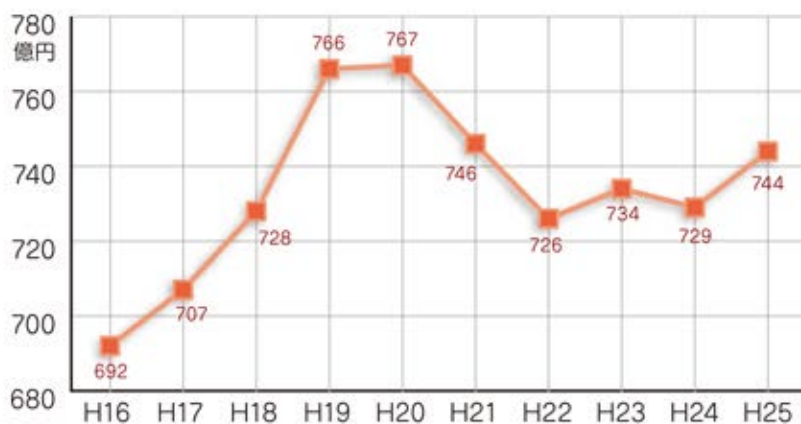
これから先も藤沢市の財政は本当に大丈夫なの？

1 総合的には全国的に見ても健全財政を保っているのはわかったけど、これから先、将来も本当に大丈夫なの？

これからの藤沢市のまちづくりでは、地震や津波に対する防災・減災対策や公共施設の老朽化対策など、数多くの事業を実施する必要があります。これらの事業を実施していくためには多くの財源が必要となりますが、歳入の根幹をなす市税収入は、平成25年度予算では固定資産税の増収などにより増加を見込んでいますが、今後は大きな増加を見込むことが難しく、中長期的には概ね横ばい状態で推移すると予測しており、財源確保がとても大きな課題です。



●市税収入の推移



※H16年度～H23年度は決算額 ※H24年度は最終予算額、H25年度は当初予算額

歳出面でも扶助費の増大により厳しい財政運営が中長期的に見込まれる状況にあります。このため、緊急性の高い施策を優先させるなど、事業の重点化を進める必要があります。さらに、公共施設の老朽化対策や新たな都市基盤整備等の課題事業については、長期的な財政負担も考慮しつつ、最も経済的・効果的な整備手法を用いるなど、厳しい財政状況に対応したしっかりとした財政運営を行っていく必要があります。

2 市役所の庁舎を建て替えるみたいだけど、どういう計画なの？ どのくらいのお金がかかるの？

市庁舎の本館、東館がそれぞれ築60年、50年を経過し、耐震性の問題により使用できなくなっていることから、平成28年度までに庁舎の建て替えを行うこととなっています。計画では、平成25年度から26年度に工事の設計及び本館・東館・第2庁舎等の解体を行い、平成27年度から28年度の2カ年で新庁舎建設を実施します。また、平成29年度には第1庁舎および職員会館の解体、外構の整備等を合わせて実施する予定です。建設する新庁舎の規模は、地上8～10階建て、延べ床面積約28,000㎡で、庁舎建て替えにかかるコストについては、総額で約120億円と想定しています。その財源を確保するため、庁舎整備基金への積み立てや市債の発行を行っていく予定です。

